

平成27年(2015年)6月の結果 (二人以上の世帯)

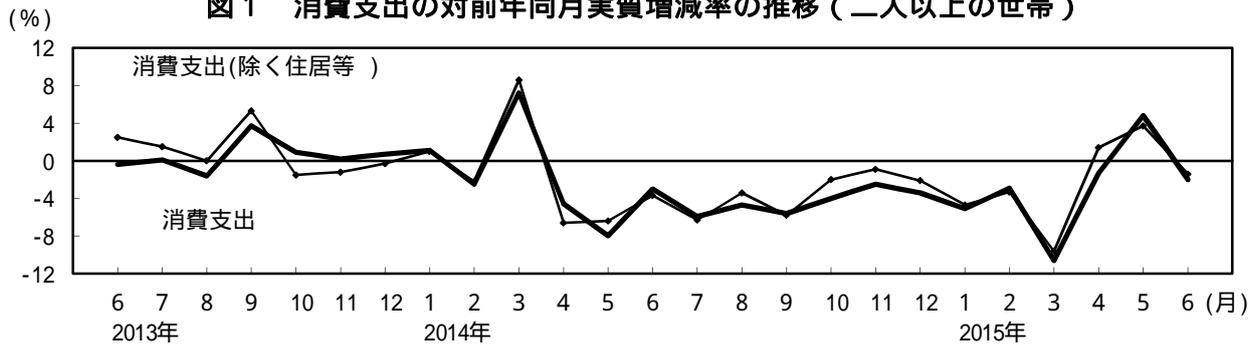
二人以上の世帯

・消費支出は、	1世帯当たり 268,652 円		
前年同月比	実質 2.0%の減少	前月比(季節調整値)	実質 3.0%の減少
	名目 1.5%の減少		
・消費支出(除く住居等)は、	1世帯当たり 234,377 円		
前年同月比	実質 1.4%の減少	前月比(季節調整値)	実質 2.6%の減少
	名目 0.9%の減少		
・勤労者世帯の実収入は、	1世帯当たり 733,589 円		
前年同月比	実質 2.8%の増加		
	名目 3.3%の増加		

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

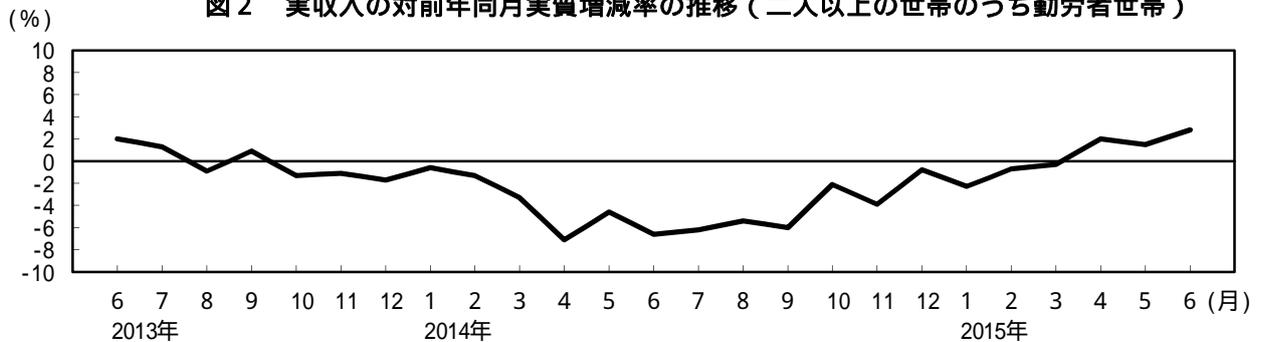
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	2014年							2015年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
消費支出	-3.0	-5.9	-4.7	-5.6	-4.0	-2.5	-3.4	-5.1	-2.9	-10.6	-1.3	4.8	-2.0
消費支出(除く住居等)	-3.7	-6.3	-3.4	-5.8	-2.0	-0.9	-2.1	-4.7	-3.3	-9.6	1.4	3.7	-1.4

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2014年							2015年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
実収入	-6.6	-6.2	-5.4	-6.0	-2.1	-3.9	-0.8	-2.3	-0.7	-0.3	2.0	1.5	2.8
可処分所得	-8.0	-5.2	-5.2	-5.9	-2.4	-3.9	-0.3	-2.5	-0.5	-1.1	2.3	1.5	1.7
消費支出	-4.5	-3.6	-6.0	-7.3	-3.4	-1.2	-3.0	-4.3	-3.6	-11.0	0.5	7.5	-1.4
平均消費性向*	1.9	1.2	-0.6	-1.4	-0.8	2.4	-1.3	-1.6	-2.3	-10.7	-1.5	5.5	-1.6

*: 対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2015年6月 - 二人以上の世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	268,652	-1.5	-2.0	-		2か月ぶりの実質減少
食料	69,232	1.6	-0.9	-0.21	<減少> 外食,調理食品など	3か月ぶりの実質減少
住居	18,748	-3.6	-4.1	-0.29	<減少> 設備修繕・維持	2か月ぶりの実質減少
光熱・水道	20,095	-1.3	1.9	0.14	<増加> 上下水道料,ガス代	3か月連続の実質増加
家具・家事用品	10,826	-1.0	-1.7	-0.07	<減少> 寝具類,家事用消耗品など	3か月ぶりの実質減少
被服及び履物	10,737	-11.6	-13.3	-0.59	<減少> 洋服,履物類など	3か月ぶりの実質減少
保健医療	12,100	1.8	1.1	0.05	<増加> 保健医療サービス,医薬品	3か月連続の実質増加
交通・通信	37,541	-3.1	-1.1	-0.16	<減少> 自動車等関係費	3か月ぶりの実質減少
教育	8,142	11.0	9.4	0.25	<増加> 授業料等,補習教育	2か月連続の実質増加
教養娯楽	27,682	-1.2	-1.9	-0.19	<減少> 書籍・他の印刷物,教養娯楽用耐久財など	15か月連続の実質減少
その他の消費支出	53,549	-4.1	(-4.6)	(-0.93)	<減少> 交際費,諸雑費など	2か月ぶりの実質減少
消費支出 (除く住居等)	234,377	-0.9	-1.4	-		3か月ぶりの実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

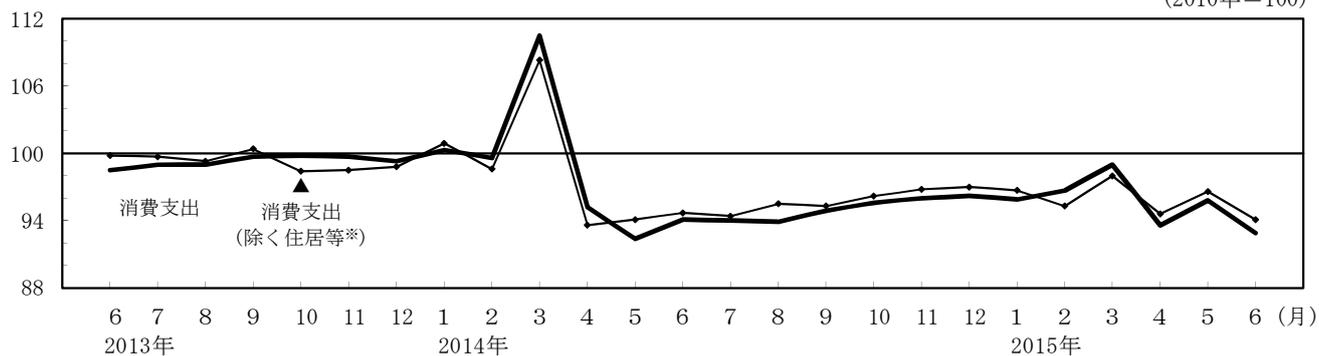
中分類	実質寄与度	品目
<減少項目>		
交際費	[-0.51]	贈与金
設備修繕・維持	[-0.43]	給排水関係工事費,外壁・塀等工事費
自動車等関係費	[-0.42]	自動車購入,自動車等関連用品
諸雑費	[-0.40]	婚礼関係費,装身具
洋服	[-0.22]	男子用上着,男子用ズボン
外食	[-0.13]	ハンバーガー,中華食
保健医療用品・器具	[-0.12]	眼鏡
<増加項目>		
家賃地代	[0.14]	民営家賃
授業料等	[0.14]	私立大学
通信	[0.12]	移動電話通信料

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）

(2010年=100)



	2014年							2015年					
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
消費支出	94.1	94.0	93.9	94.9	95.6	96.0	96.2	95.9	96.7	99.0	93.6	95.8	92.9
対前月変化率(%)	1.8	-0.1	-0.1	1.1	0.7	0.4	0.2	-0.3	0.8	2.4	-5.5	2.4	-3.0
消費支出(除く住居等*)	94.7	94.4	95.5	95.3	96.2	96.8	97.0	96.7	95.3	98.0	94.6	96.6	94.1
対前月変化率(%)	0.6	-0.3	1.2	-0.2	0.9	0.6	0.2	-0.3	-1.4	2.8	-3.5	2.1	-2.6

※：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2015年6月－二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備考
		名目	実質		
実収入	733,589	3.3	2.8	—	3か月連続の実質増加
世帯主収入	566,735	0.9	0.4	0.29	16か月ぶりの実質増加
定期収入	349,094	0.4	-0.1	-0.05	17か月連続の実質減少
臨時収入・賞与	217,641	1.6	1.1	0.34	
配偶者の収入	88,166	12.9	12.3	1.36	3か月連続の実質増加
他の世帯員収入	9,018	13.6	13.0	0.15	5か月連続の実質増加
非消費支出	152,309	7.6	—	—	6か月連続の増加
可処分所得	581,279	2.2	1.7	—	3か月連続の実質増加
消費支出	293,042	-0.9	-1.4	—	3か月ぶりの実質減少
平均消費性向(%)	50.4	(前年同月) (ポイント差) 52.0 -1.6			季節調整値で見ると、73.7%で、前月に比べ、0.6ポイントの低下となった。

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入、社会保障給付、財産収入などが含まれる。